

都市再生整備計画 事後評価シート  
松川地区

令和7年3月

長野県松川町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	松川町		地区名	松川地区			面積	164.0ha		
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	635.2百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(59号線、大草線、名子原中央線、87号線)、公園(松川公園)、地域生活基盤施設(町民体育館耐震改修、名子原体育館耐震改修、松川町役場防災備蓄倉庫)										
		提案事業	宮坂駐車場トイレバリアフリー化										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		(1)宮坂駐車場トイレバリアフリー化			(1)商店街駐車場における公衆トイレについて、子育て世代も利用しやすい環境を整えるため令和元年度に追加				影響なし				
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成30年度～令和4年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	町民アンケートにおける子育ての環境・支援に対する「満足度が高い」「やや満足度が高い」の割合	%	43.4	H30	45	R4	モニタリング	評価値	○	あり	ハード整備の効果によりアンケート調査による評価が上昇した。	
											なし		
	指標2	町民アンケートにおける町の住みやすさに対する「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の割合	%	49.8	H30	53	R4	モニタリング	評価値	○	あり	ハード整備の効果によりアンケート調査による評価が上昇した。	
なし													
指標3										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								





# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他(計画区域の拡大)		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	59号線	95.0	L=80m	113.3	L=80m	住環境の早期改善を図るため、計画期間における事業完成を目指す為、事業費増	影響なし	●	
道路	大草線	50.0	L=100m	81.5	L=100m	住環境の早期改善を図るため、計画期間における事業完成を目指す為、事業費増	影響なし	●	
道路	名子原中央線	50.0	L=550m	40.0	L=550m	事業精査による事業費の減	影響なし	●	
道路	87号線	20.0	L=480m	20.9	L=480m	住環境の早期改善を図るため、計画期間における事業完成を目指す為、事業費増	影響なし	●	
公園	松川公園	15.0	A=1,553㎡	16.8	A=1,553㎡	多様なニーズに対応した公園整備を進めるため事業費増	影響なし	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	町民体育館	253.0	A=4,032㎡	300.5	A=4,032㎡	資材高騰などによる事業費増	影響なし	●	
地域生活基盤施設	名子原体育館	8.0	A=784㎡	1.0	A=784㎡	事業精査による事業費の減	影響なし	●	
地域生活基盤施設	松川町役場(防災備蓄倉庫)	44.0	N=1箇所	54.2	N=1箇所	資材高騰などによる事業費増	影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	%	町の総合計画に関する住民アンケートから集計する。	43.4	H25	43.4	H25	45.0	R4	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	●	48.35	事後評価	○		
指標2	%	町の総合計画に関する住民アンケートから集計する。	49.8	H26	49.8	H26	53.0	R4	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	●	63.55	事後評価	○		
指標3									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標4									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	主要幹線道路における交差点改良を行ったことで、通学路における児童生徒の安全確保が実施できたこと、また公園内のトイレを全面リニューアルしたことにより子育て世代への満足度向上となった。	
指標2	庁内都市部における主要幹線道路、主要な生活道路を改良したこと、また住民生活に直結する施設の改修を行ったことで全面的に指標を押し上げる形となった。特にこれまでなかった防災備蓄倉庫の整備にあっては、近年多様化する災害に備えているものであり特に住民からの関心が高く感じられた。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(事後評価検討チーム)	関係各課担当職員(総務課、産業観光課、建設水道リニア対策課、生涯学習課)	令和7年2月	総務課 財政係

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標○	指標○
指標名		子育て環境の充実	生活環境の充実		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路 59号線	-	主要幹線道路における交差点改良を行ったことで、通学路における児童生徒の安全確保が実施できたこと、また公園内のトイレを全面リニューアルしたことでより子育て世代への満足度向上となった。	○	庁内都市部における主要幹線道路、主要な生活道路を改良したこと、また住民生活に直結する施設の改修を行ったことで全面的に指標を押し上げる形となった。特にこれまでなかった防災備蓄倉庫の整備にあっては、近年多様化する災害に備えているものであり特に住民からの関心が高く感じられた。
	道路 大草線	○		○	
	道路 名子原中央線	-		○	
	道路 87号線	-		○	
	公園 松川公園	◎		○	
	地域生活基盤施設 町民体育館	-		○	
	地域生活基盤施設 名子原体育館	-		○	
	地域生活基盤施設 松川町役場(防災備蓄倉庫)	-		◎	
提案事業	トイレバリアフリー化	-	○		
関連事業	移動系防災無線デジタル化事業	-			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標〇			指標〇		
指標名		子育て環境の充実			生活環境の充実								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路 59号線	-			-								
	道路 大草線	-			-								
	道路 名子原中央線	-			-								
	道路 87号線	-			-								
	公園 松川公園	-			-								
	地域生活基盤施設 町民体育館	-			-								
	地域生活基盤施設 名子原体育館	-			-								
	地域生活基盤施設 松川町役場(防災備蓄倉庫)	-			-								
提案事業	トイレバリアフリー化	-			-								
関連事業	移動系防災無線デジタル化事業	-			-								

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(事後評価検討チーム)	関係各課担当職員(総務課、産業観光課、建設水道リニア対策課、生涯学習課)	令和7年2月	総務課 財政係

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
「松川町地域防災計画」に指定された避難所の中で最も収容人数がある町民体育館は、町内でも最も人口が集中している名子地区内に位置しており、災害時の二次避難施設として継続的に多数の方が避難する施設ですが、過去に実施にした耐震診断の結果、耐震補強が必要であると判定がされている状況です。そのため早急に耐震化を図るとともに、施設の老朽化等に対する適切な整備を実施する必要があります。	避難所に指定されている町内施設の耐震改修を行ったことにより、災害時における避難者の安全確保に寄与することとなった。		長期的な視点で人口減少のペースを抑制する施策を検討・実施する必要がある。ハード面のみならず、ソフト事業側面からも施策の推進を検討する。人口増加を図るため、企業誘致や移住推進などの施策についてこれまで以上に検討・実施していく必要がある。
災害時における住民の生命と財産の保護と行政等による迅速に対応する必要がありますが、拠点となる役場庁舎だけでは施設も限られ、資材や非常食等の備え(保管)に対応することが難しい状況です。	防災備蓄倉庫の建設により、喫緊の課題となっていた部分は解消された。		
出生率を上昇させ、少子化を抑制させるために、引き続きソフト・ハード面からの子育て支援の充実が求められており、施設の老朽化や機能アップなどの住民ニーズに対応する必要があります。地区内の公園などの公共施設の機能強化と適切な整備を図る必要があります。	道路改良や公園内トイレバリアフリー化を実施したことで、子育て世代にも生活や利用しやすい環境整備を進めることができた。	目標(指標1)は達成できたものの、依然として人口減少の加速を止めるまでには至っておらず、引き続き時代とニーズに的確に対応した施設整備が必要である。	

地区内には、学校、行政、駅、社会教育施設、病院、商店、工場等が点在しており、往来が集中するエリアであり、子どもから大人まで幅広い世代から快適な住環境の整備が求められています。そのため、地区内を安全・安心して往来するための道路整備を進める必要があります。

道路改良や公園内トイレバリアフリー化を実施したことで、子育て世代にも生活や利用しやすい環境整備を進めることができました。

目標(指標1)は達成できたものの、依然として人口減少の加速を止めるまでには至っておらず、引き続き時代とニーズに的確に対応した施設整備が必要である。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域防災計画や公共施設等総合管理計画とリンクした公共施設の長寿命化	公共施設の計画的な改修や更新、災害時における避難者の安心安全・快適な避難生活のため、両側面から優先度の高い施設について計画的に改修を引き続き進める。	・町内体育施設や公民館等における長寿命化改修事業 ・ " エアコン設置事業

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	子育て世代をターゲットとした移住定住促進	・人口減少に歯止めをかけるため、既に松川町に住まわれている子育て世代に対しては生活環境の満足度を引き続き高めていく。 ・同じ目的のもと、子育て世代が移住先として松川町を選択してくれるようハード面の充実とその効果的なPRを推進する。	・保育園等の子育て関係施設の環境改善 ・移住者や移住希望者に対する子育て支援 ・移住促進プロモーション
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	町民アンケートにおける子育ての環境・支援に	%	43.4	H30	45.0	R4	確定 ●	48.35	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標2	町民アンケートにおける町の住みやすさに対す	%	49.8	H30	53.0	R4	確定 ●	63.55	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標3							確定			あり	→		
							見込み			なし			
指標4							確定			あり	→		
							見込み			なし			
指標5							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標1							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標2							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標3							確定			あり	→		
							見込み			なし			



## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	定期的に実施される住民アンケート指標を用いることで、正確な数値を容易に集計することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため指標を設定する際には計測のことも考慮することが望ましい。</li> <li>・外的要因に影響を受けやすい指標を設定する際は影響内容を十分に検討することが望ましい。</li> </ul>
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

現段階で次期計画を予定していない。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット				担当課への電話、 FAX、電子メールなど	総務課 財政係
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	松川町役場総務課における閲覧	令和6年1月6日～2月5日	令和6年1月6日～2月5日		

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	-	R7.2.10	総務課	-	既存組織(松川町議会)
その他の委員	松川町議会議員(14名)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特になし。
	成果の評価	特になし。
	実施過程の評価	特になし。
	効果発現要因の整理	効果発現要因が整理されていることが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	特になし。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	特になし。
	フォローアップ	特になし。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくりは妥当であると認められた。
その他	特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

# 社会資本総合整備計画（第4回）

## 松川地区都市再生整備計画

令和5年1月30日

長野県松川町

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和5年1月30日

計画の名称	1 松川地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）					交付対象					長野県 松川町						
計画の目標	テーマ：子育て環境の充実と「住みたい、住み続けたい」と思う、安全で快適な地域づくり 目標1：安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進する 目標2：誰もが安全で快適な生活を実感できる生活環境を形成する																
計画の成果目標（定量的指標）	・今後年少人口の減少が予想されるなかで、子育て教育環境の充実により、松川町における子育ての環境や支援への満足度を向上させる（H25：43.4%→H34：45.0%） ・安全で快適な生活を実感できる生活環境を形成することにより、住民の住みやすさに対する満足度を向上させる（H26：49.8%→H34：53.0%）																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)				
	町内の就学前児童のいる家庭に対するアンケートで松川町における子育ての環境や支援に対して「満足度が高い」「やや満足度が高い」と回答する割合										43.4	44.0	45.0				
	地域住民に対するアンケートで現在の町の住みやすさに対して「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答する割合										49.8	51.0	53.0				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		635.2百万円	A	635.2百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
1-A-1	都市再生	一般	松川町	直接	松川町	町道59号線他	道路・公園・地域生活基盤施設等164ha	松川町						635.2			
合計														635.2			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	R2	R3	R4				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	R2	R3	R4				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	R2	R3	R4
配分額 (a)	23.0	128.9	43.3	42.8	8.0
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額 (c=a+b)	23.0	128.9	27.3	42.8	8.0
前年度からの繰越額 (d)	0.0	7.2	6.1	24.6	12.1
支払済額 (e)	15.8	130.0	24.8	30.7	
翌年度繰越額 (f)	7.2	6.1	24.6	12.1	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・子育て教育環境の充実や安全な交通ネットワークの形成、身近な公園の整備により、町民が安心して子どもを産み、育てることができる環境を整備します。</p>	<p>(基幹事業)                      道路:町道59号線、町道大草線                      公園:松川公園トイレバリアフリー化工事                      (提案事業)                      地域創造支援事業:商店街トイレバリアフリー化工事</p>
<p>・安心のできる生活環境を推進するため防災対策の施設整備を進めるとともに、道路環境を整えることで、住民が安全に生活でき且つ走行快適性の向上を図ります。</p>	<p>(基幹事業)                      道路:町道名子原中央線、町道87号線                      地域生活基盤施設(地域防災施設):町民体育館(躯体・天井・照明)耐震化・屋根補強工事                      地域生活基盤施設(地域防災施設):名子原体育館照明耐震化工事                      地域生活基盤施設(地域防災施設):防災備蓄倉庫兼事務所整備                      (関連事業)                      移動系防災無線デジタル化事業</p>
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	635.2	交付限度額	254.0	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		59号線	松川町	直	L=80m	H30	R2	H30	R2	113.3	113.3	113.3	113.3	-
道路		大草線	松川町	直	L=100m	R2	R3	R2	R3	81.5	81.5	81.5	81.5	-
道路		名子原中央線	松川町	直	L=550m	R2	R2	R2	R2	40.0	40.0	40.0	40.0	-
道路		87号線	松川町	直	L=480m	R4	R4	R4	R4	20.9	20.9	20.9	20.9	-
公園		松川公園	松川町	直	A=1,553㎡	H30	H30	H30	H30	16.8	16.8	16.8	16.8	-
古都保存・緑地保全等事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		町民体育館(耐震改修)	松川町	直	A=4,032㎡	H30	H31	H30	H31	300.5	300.5	300.5	300.5	-
地域生活基盤施設		名子原体育館(耐震改修)	松川町	直	A=784㎡	H30	R2	H30	R2	1.0	1.0	1.0	1.0	-
地域生活基盤施設		松川町役場(防災備蓄倉庫)	松川町	直	N=1箇所	H30	R2	H30	R2	54.2	54.2	54.2	54.2	-
高空間形成施設														
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
連携生活拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(高次都市施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										628.2	628.2	628.2	0.0	628.2

…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業	トイレバリアフリー化	富坂駐車場トイレ	松川町	直	A=40㎡	R3	R3	R3	R3	7.0	7.0	7.0	7.0	
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										7.0	7.0	7.0	0.0	7.0

…B

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
移動系防災無線デジタル化事業	松川町元大島	松川町	消防庁				○		H31	H31	200.0
合計											200.0

合計(A+B) 635.2